

ネパール・トレッキングについて

ネパールの代表的な山域は、エベレスト（クーンブ）、アンナプルナ、ランタンです。

なかでも世界最高峰のあるエベレスト方面は人気があり、シーズン中は世界中からトレkkerが訪れます。アンナプルナ方面は交通の便が良く、短期の日程でヒマラヤをご覧頂けます。また、ランタン方面は世界で一番美しい谷として有名です。

季節は雨期（6～9月）、乾期（10月～5月）と大きく2つに分かれます。雨は雨期に集中するため、乾期にはほとんど降りません。

乾期でも時々山岳付近では雪が降ることもありますが、この時期の積雪は長続きしません。雪の降った翌日には白いヒマラヤがひととき美しく、トレッキングを楽しませてくれます。



ネパール・トレッキングのスタイル（ティーハウス・トレッキングの場合）

【同行スタッフ】

◆ガイド 1名：

全体をまとめ、ポーターへの指示、トレッキングの進行を管理します。

当社では日本語ガイドの起用が可能です。

お客様の人数によってはアシスタント・ガイドが加わります。

◆ポーターまたは牛（ヤク） 1名以上：

牛（ヤク）利用の場合は、ポーター（人）の2～3倍の荷物を運びます。

※原則として、お客様2名につきポーター1人が同行します。



▲トレッキングの様子



▲パッキングの様子



▲力持ちのポーター

【食事】

トレッキング中のお食事はロッジにてお召し上がりいただきます。メニューにつきましてはガイドまたは添乗員がロッジに注文致します。日本人にも食べやすいものを極力選びますが、体調を崩された時のため、インスタント味噌汁、レトルトのおかゆなどを少量お持ちになるとよいでしょう。

またロッジでは、ソフトドリンク、紅茶、コーヒー、ココアなどの飲み物も販売しています。

お湯も分けてもらえるので、日本茶のティーパックなどをご用意されても良いでしょう。

【ロッジ】

ロッジのお部屋は基本的に、ツインのお部屋となります。ベッドに寝袋を敷き、お使いいただきます。寝袋は現地にてご用意致します。ロッジ代とお食事代はご旅行代金に含まれております。

【装備】

トレッキング・シューズ、シャツ、スラックス、フリース、
ダウンジャケット、雨具、水筒、ヘッドランプ、サンダルなど。
*目的地によって装備は変わります。装備品リストをご参照下さい。
*寝袋は現地にてご用意しています。



【トレッキングの流れ】

朝は6時半～7時半頃起床。朝食は7時半～8時半。出発は8時半～9時頃。
その日の行程により出発時間が異なりますので、前の晩にサードー（ガイド）がご説明致します。
朝食前にポーター（ヤク）に預ける荷物の梱包を終え、手荷物をご用意下さい。
紅茶、コーヒー、ココア、お湯はお食事の度にサービス致します。ミネラルウォーターにつきましては、
ご購入いただくことになります。
夜間の水分補給に、テルモス（保温性の水筒）があると便利です。

【気候】 下記平均気温をご参照下さい。

都市名	年間平均気温												
	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
カトマンズ (1,388m)	最高	18	20	24	27	32	32	31	30	26	25	22	19
	最低	2	4	7	12	16	19	20	20	18	13	8	3
ポカラ (833m)	最高	19	21	26	30	29	31	29	28	28	26	23	19
	最低	7	9	12	16	18	20	21	21	20	17	12	8
シャンボチェ (3,880m)	最高	1	3	7	10	10	10	12	11	11	7	7	5
	最低	-9	-6	-4	-1	3	6	6	6	5	0	-3	-8
東京	最高	10	10	13	18	23	25	29	31	28	21	17	12
	最低	1	1	4	10	15	18	22	24	20	14	6	3

【高山病】

ご旅行中の健康状態により、高度障害の発症には大きな差があります。
ご出発前から健康管理にご留意ください。
日本の山登りが「がんばって登る」のに対し、ネパール・トレッキングは「がんばらない」ということを心がけて下さい。具合が悪い時に頑張ってしまうと、より悪くなるケースが多いです。
早めに標高の低い場所に下って休憩し、本隊を待つという心の余裕をお持ち下さい。
余裕がなければ、せっかくの景色も楽しめません。途中で分かれる場合にはスタッフを同行させ、ご不安のないようにサポート致します。

世界の屋根ヒマラヤの迫力と、生活環境の厳しい大地で遅く暮らす人々の生活を見ながら、
日本では経験のできない、ゆったりとした時間をお楽しみ下さい。